

検討案の比較

		現行	A案 ・コミバス（全域） ・タクシー補助券	C-1案 ・デマンド（北部） ・コミバス（中南部）	C-2案 ・デマンド（コミバスのない地域） ・コミバス（全域）
運営			・タクシー補助券の位置づけ、利用者制限について検討必要。 ①福祉施策、②公共交通施策	・デマンド運行が可能かどうか、交通事業者との調整が必要	・デマンド運行が可能かどうか、交通事業者との調整が必要
年間経費（千円）	運行経費【A】				
	コミバス	30,700	30,700	21,428	30,700
	デマンド	308 〔利用者 262 地元 354〕	-	25,461	16,830
	バス（通学）	14,300	14,300	14,300	14,300
	タクシー券		①68,448 ②19,642	-	-
	合計	45,308	①113,448 ②64,642	61,189	61,830
	収入【B】	8,000	8,000	14,614	12,752
収支【A】-【B】	37,308	①105,448 ②56,642	46,575	49,078	
現行との経費比較			①68,140 増 ②19,334 増	9,267 増	11,770 増
運行方法			<p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行通り運行。（利用状況により、一部見直し） <p>【タクシー券】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①福祉施策は、市内全域、70歳以上 ②交通施策は、コミバス運行地区以外の住民に限定 <ul style="list-style-type: none"> ・補助額 620円（基本料金） ・配布枚数 <ul style="list-style-type: none"> ①年間24枚（月1往復） ②年間48枚（月2往復） 	<p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中南部は現行通り運行。（利用状況により、一部見直し） <p>【デマンド交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内及び中心部まで運行。 ・1日4往復（8便）を想定。 ・料金400円（現行コミュニティバス最大料金） <p>【コミュニティバス（通学）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行コミュニティバスの通学に利用される路線のみ運行 あるいは貸切 	<p>【コミュニティバス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全域、現行通り運行。（利用状況により、一部見直し） <p>【デマンド交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内及び中心部まで運行。 ・1日2往復（4便）を想定。 ・料金400円（現行コミュニティバス最大料金） <p>【コミュニティバス（通学）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行コミュニティバスの通学に利用される路線のみ運行 あるいは貸切

	現行	A案 ・コミバス（全域） ・タクシー補助券	C-1案 ・デマンド（北部） ・コミバス（中南部）	C-2案 ・デマンド（コミバスのない地域） ・コミバス（全域）
メリット		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスが無い部分をカバーできる。 ・タクシーを利用しやすくなり、利便性向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉・釜戸の一部は昼中にタクシー以外の公共交通が無いため、利便性が向上。 ・北部の交通空白地域をカバーできる。 ・北部の便数増加。 (中南部地域は変化なし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミバスのない地域の利便性が向上。 ・交通空白地域をカバーできる。
デメリット		<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー補助券の枚数、補助額によっては、効果が少ない。 ・タクシー利用のほうが便利のため、路線バス、コミバスの利用が減少する懸念がある。 ・乗継を行わず、周辺地から直接市街地へ利用する可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域により異なる運行方式となるため、住民の合意形成で時間を要する。 ・利用の煩わしさ。 ・中南部の一部では、公共交通空白地域が残る。 ・スクールバス（貸切）とした場合、経費が増大する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド地域は、乗継が必要になる。 ・地域により異なる運行方式となるため、住民の合意形成で時間を要する。 ・利用の煩わしさ。 ・スクールバス（貸切）とした場合、経費が増大する。